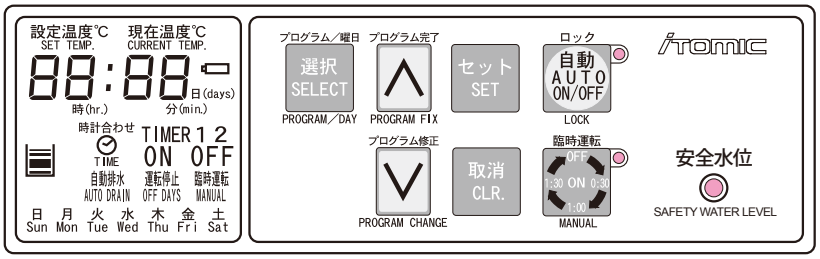
ITOMIC
お湯のトータルプランナー

取扱説明書

『マイコンタイマー』（EW/ET用）



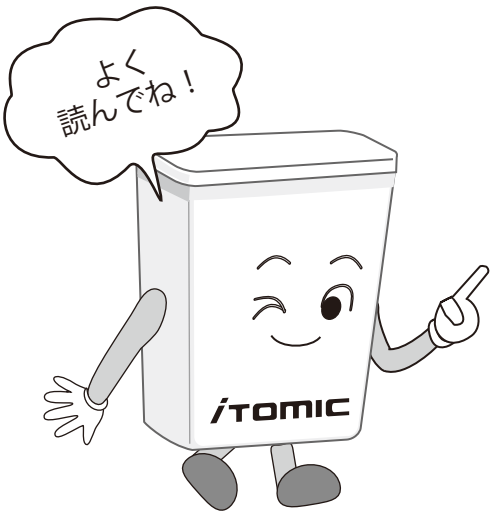
このたびは、マイコンタイマー付き電気湯沸器をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書を事前によくお読みになり、理解した上で設置・ご使用ください。
設置工事（試運転）後は、必ず本書をご使用になる方にお渡しください。
本書は、いつでもご覧になれるよう所定の場所に保管してください。
（この取扱説明書に記載されている事項を守らずに発生した事故について、弊社は一切責任を負いません。）

株式会社 日本イトミック
〒 130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL：03（3621）2121（大代表）　FAX：03（3621）2130
フロント課（修理依頼承り先）
TEL：03（3621）2161（代表）　FAX：03（3621）2163

はじめに

もくじ

初めてお使いになるときは、別途製品に付属の「工事要領・取扱説明書」の各タイプごとの操作手順をご参照ください。



はじめに …… **1**
もくじ …… 1
操作パネルの名称とはたらき …… 1
運転状態の表示 …… 2
おすすめプログラムについて …… 2

設定内容の確認 …… **3**
現在の設定確認方法 …… 3

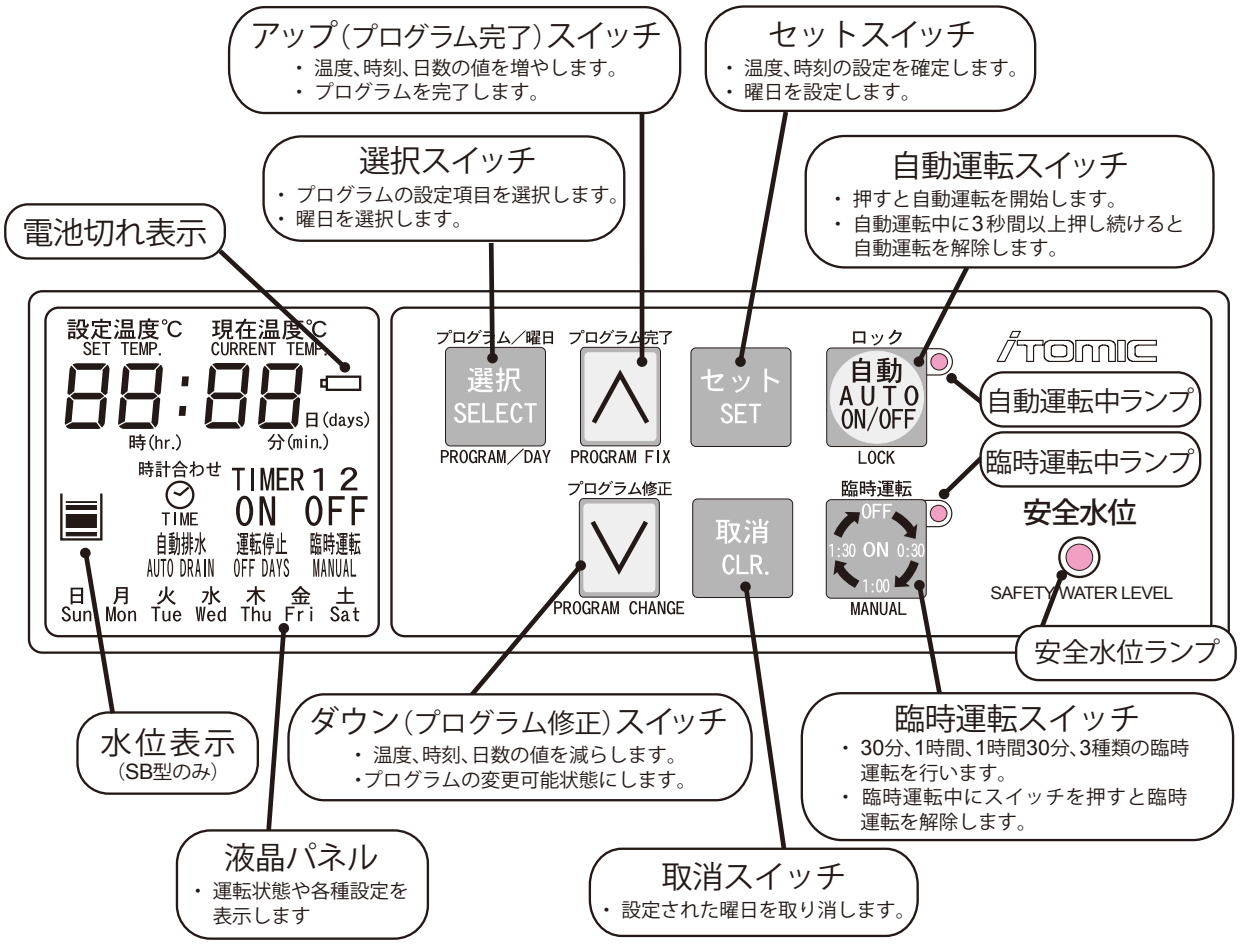
プログラム設定方法 …… **4**
設定温度の変更 …… 4
現在時刻と曜日の変更 …… 5
タイマー時刻変更 …… 6
タイマー曜日変更 …… 8
運転停止日の設定 …… 10
自動給排水日の変更（C タイプのみ） …… 11

臨時運転 …… **12**
臨時運転のしかた …… 12

故障と思われる前に …… **13**

エラー表示 …… **14**

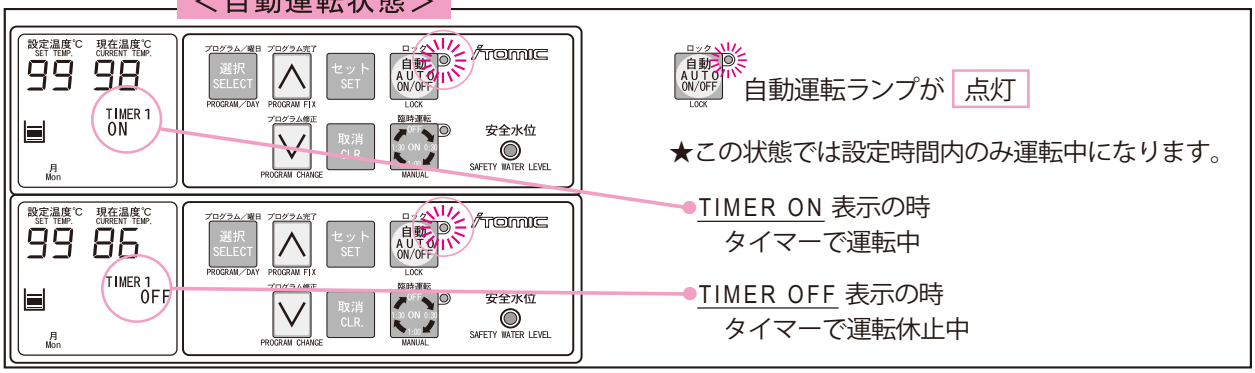
操作パネルの名称とはたらき



■ 運転状態の表示

運転状態は常に液晶パネルに表示されています。表示によって次の3つの運転状態があります。
液晶パネルに表示される運転状態の表示をよくご覧の上、以降の手順をお読みください。

＜自動運転状態＞



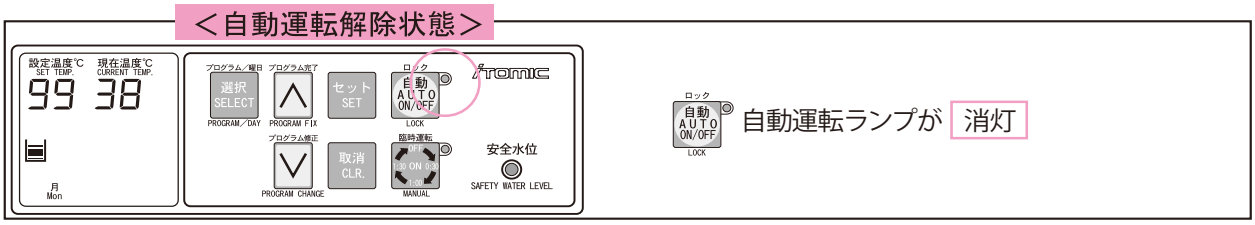
自動運転ランプが 点灯

★この状態では設定時間内のみ運転中になります。

TIMER ON 表示の時
タイマーで運転中

TIMER OFF 表示の時
タイマーで運転休止中

＜自動運転解除状態＞

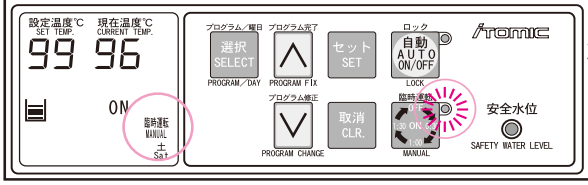


自動運転ランプが 消灯

＜臨時運転状態＞

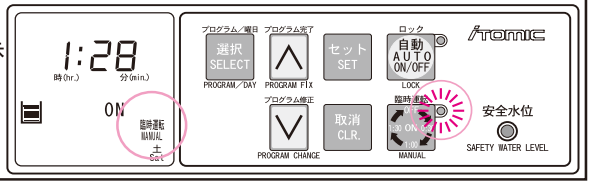
「臨時運転ランプ」が 点灯

＜温度＞



交互表示

＜残り時間＞



■ おすすめプログラムについて

「おすすめプログラム」とは湯沸器を簡単にお使いいただくための工場出荷時セット済みの運転内容で、初めて運転を開始すると下表の「タイマー 1」の内容で運転を開始します。
お客様のご都合に合わせてプログラムを変更してお使いになるときは、P.4 以降の各種「プログラム設定方法」をご参照ください。

おすすめプログラムの設定内容（工場出荷時）

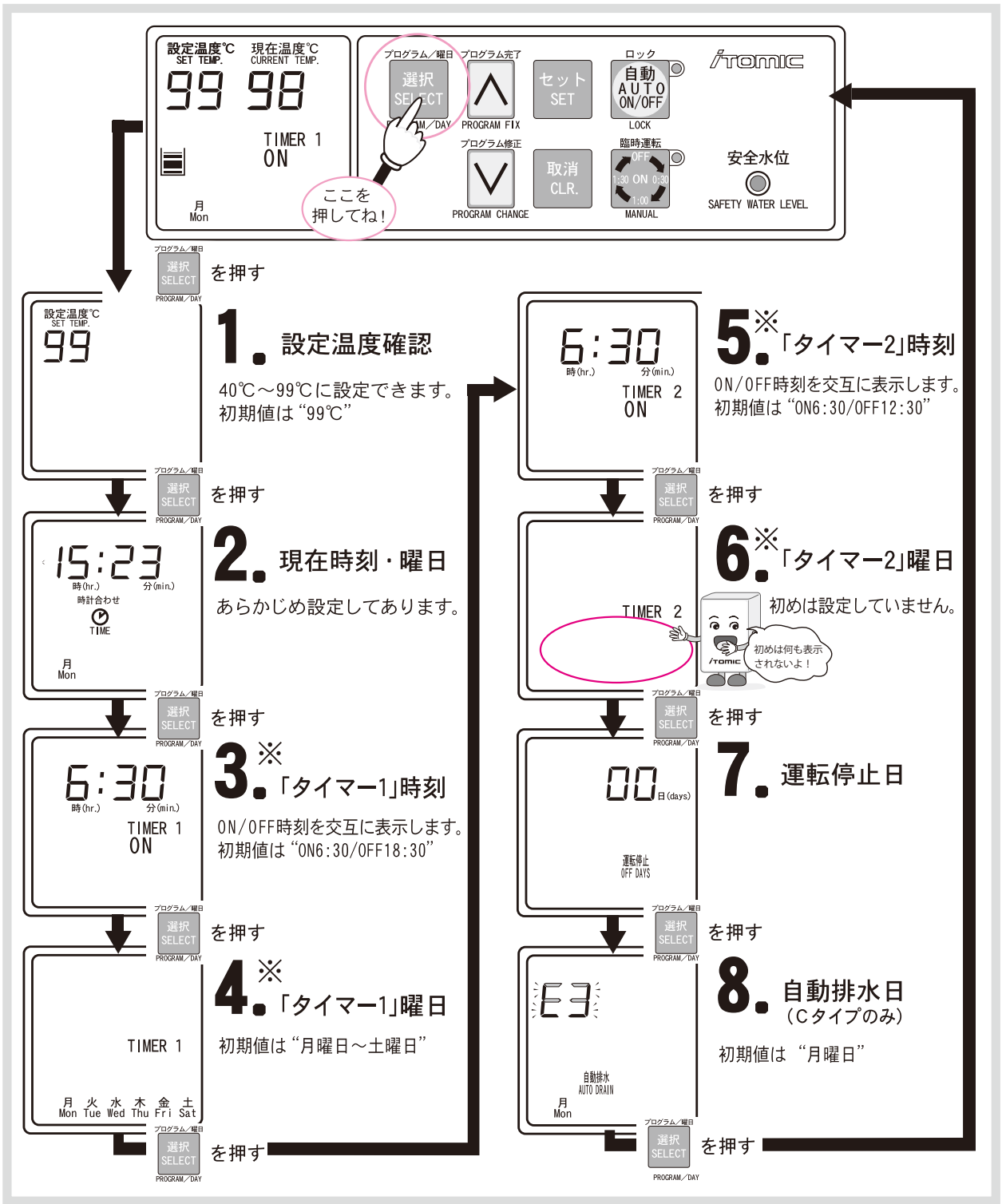
		タイマー 1	タイマー 2
設定湯温		99℃	
運転時間	開始時刻	6 時 30 分	6 時 30 分
	終了時刻	18 時 30 分	12 時 30 分
運転曜日		月・火・水・木・金・土	設定なし
自動給排水日		月 （4 時 30 分～ 6 時 30 分、Cタイプのみ）	

設　定　内　容　の　確　認

■現在の設定確認方法

現在の設定内容は自動運転状態、自動運転解除状態のどちらでも、選択スイッチを押せば確認できます。（※自動運転状態の時は **3･4** と **5･6** が同時に表示されます。）

ワンポイント　自動運転解除状態のときはそのまま設定の変更ができます。

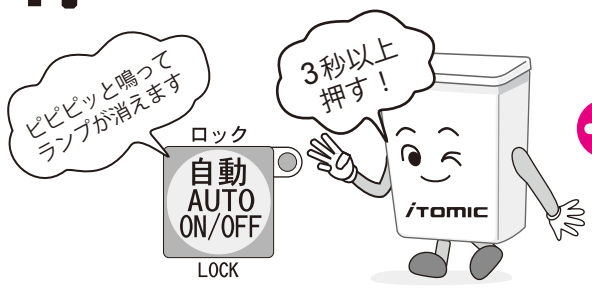


ワンポイント　確認作業を中止するときは自動スイッチを1回押してください。

プログラム設定方法

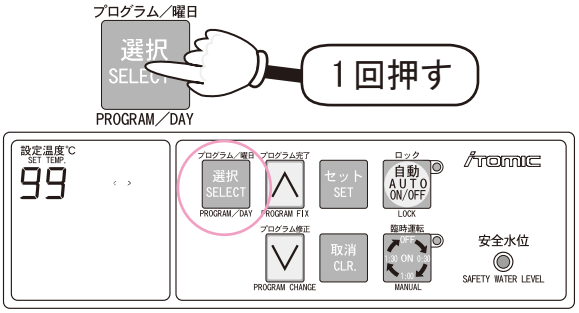
■設定温度の変更

1. 自動運転を解除する

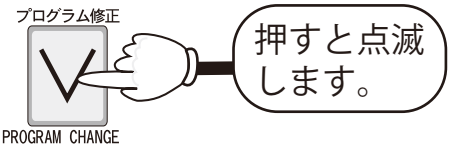


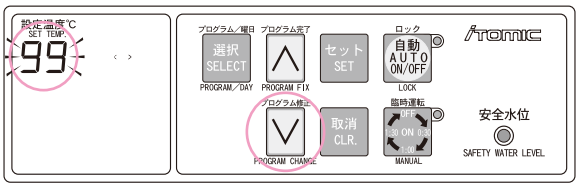
自動運転解除状態になります。

2. 設定温度の確認

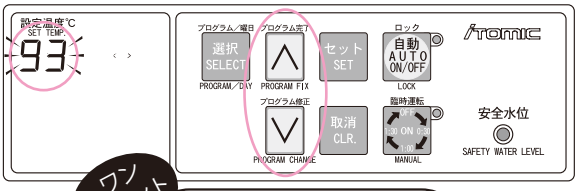


3. 変更可能状態へ





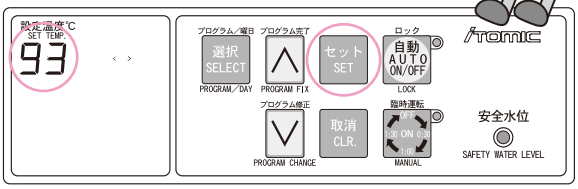
4. 設定温度の変更



ワンポイント
40℃～99℃の範囲で
1℃単位の変更が可能！

5. 設定温度の確定

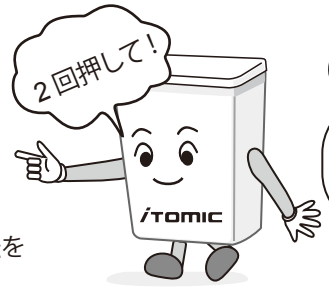
セット
SET
を押すと設定温度の
点滅が止まります。



6. プログラムの完了

7. 自動運転を開始

ランプが点灯して自動運転を
開始します。



ワンポイント
続けて他の設定をする時には、

を1回押し、
自動運転解除状態にして

を押してください。

メモ 湯槽内のお湯の温度は機器の構造上、常に設定温度にはなっておりません。設定温度は目安とお考えください。特にBT型で一度に大量のお湯を使うと温度が下がることがあります。なおSB型で設定温度が99℃の場合、水位を調整して90℃以上に湯温を保つようにします。

プログラム設定方法

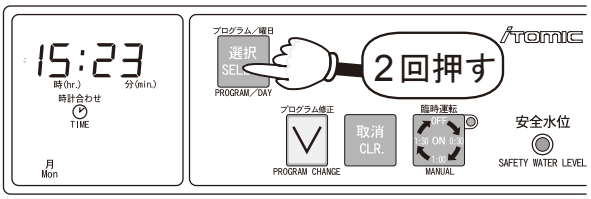
■ 現在時刻と曜日の変更

（工場出荷時に時刻と曜日は設定されています）

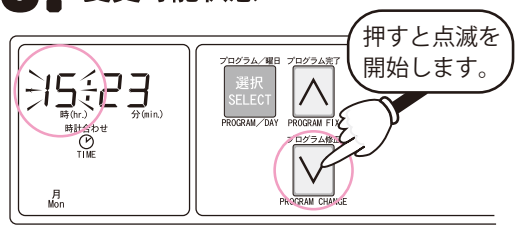
1. 自動運転を解除する

自動運転解除状態になります。

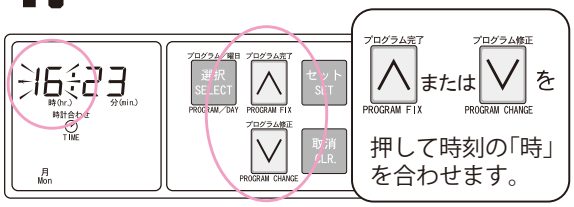
2. 現在時刻と曜日の確認



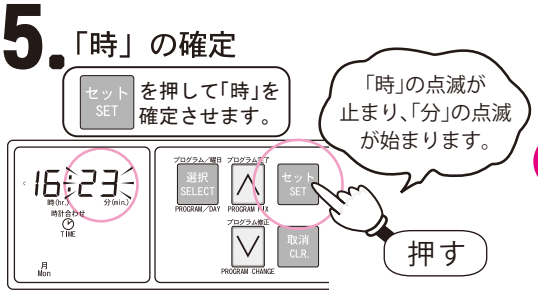
3. 変更可能状態へ



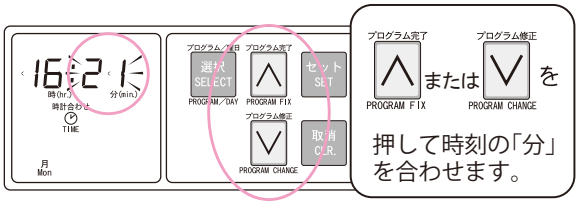
4. 時刻の「時」の設定



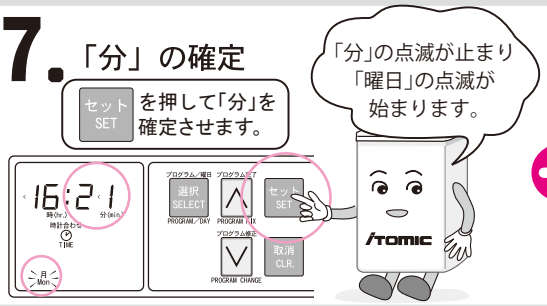
5.「時」の確定



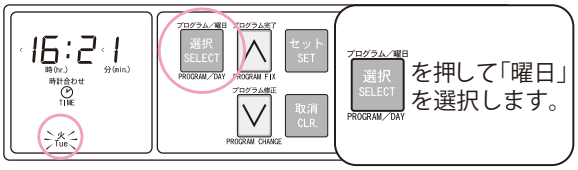
6. 時刻の「分」の設定



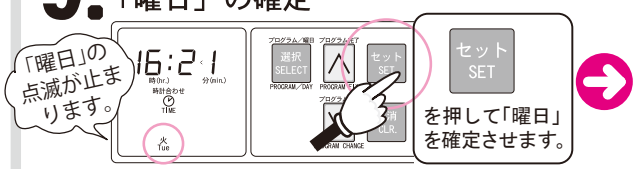
7.「分」の確定



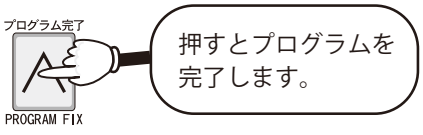
8. 曜日の設定



9.「曜日」の確定

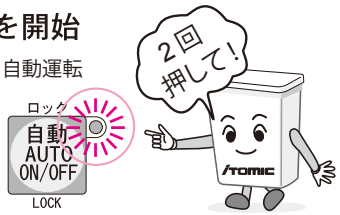


10. プログラムの完了



11. 自動運転を開始

ランプが点灯して自動運転を開始します。



ワンポイント

続けて他の設定をする時には、ロック 自動 AUTO ON/OFF LOCK を1回押し、

自動運転解除状態にして プログラム／曜日 選択 SELECT PROGRAM／DAY を押してください。

プログラム設定方法

■タイマー時刻変更 …〈運転曜日の変更はP.8参照〉

運転時間は開始時刻・終了時刻それぞれ0時00分から23時45分の範囲で15分単位の変更ができます。

運転時間の設定は通常「タイマー1」で行い、「タイマー2」は予備タイマーです。

「タイマー2」を使えば2種類の運転時間設定ができます。ただし、時間設定は曜日ごとでしか設定できません。重複して指定した場合には後から指定したプログラムが有効になります。

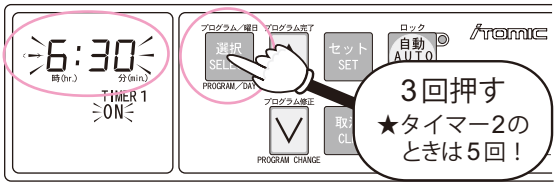
例えば「タイマー1」と「タイマー2」を使えば、月曜日～金曜日迄は6:30～18:30間で運転させ、土曜日のみ6:30～12:30間だけ運転させることができます。

「タイマー1」の運転時間を5：00～19：00に変更する例

1. 自動運転を解除する

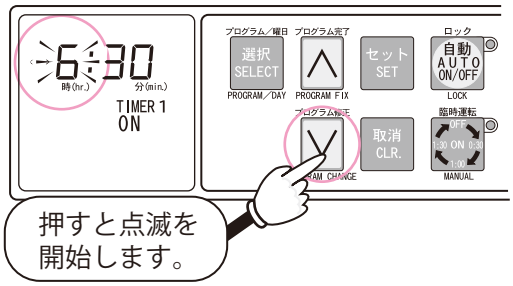
自動運転解除状態になります。

2. タイマーの設定時刻の確認

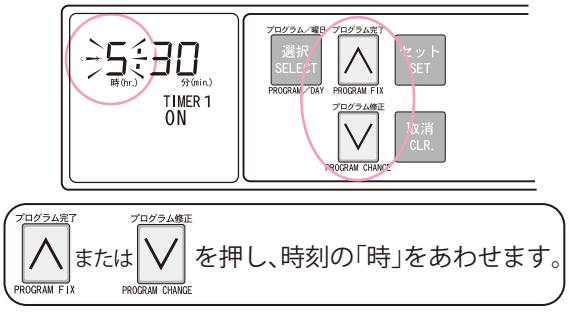


ON/OFF時刻が交互に表示されます。
初期値は タイマー1・ON6:30/OFF18:30・
タイマー2・ON6:30/OFF12:30・

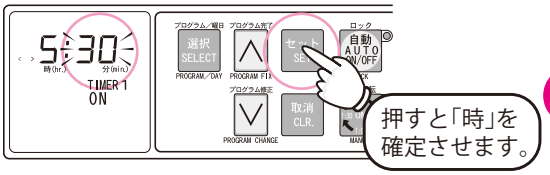
3. 変更可能状態へ



4. 開始時刻の「時」の設定

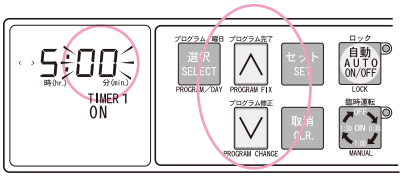


5. 開始時刻の「時」の確定



ONの「時」の点滅が止まり、
ONの「分」の点滅が始まります。

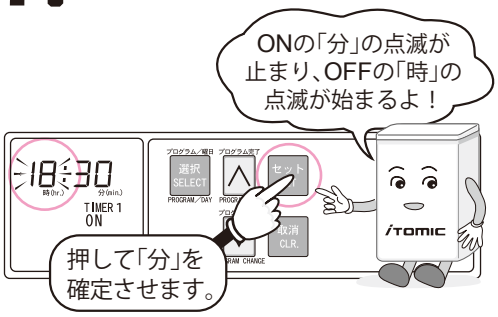
6. 開始時刻の「分」の設定



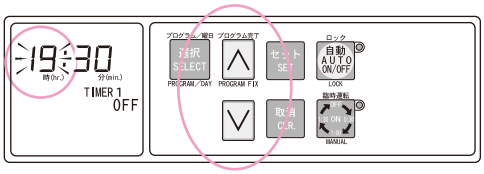
次ページ 7 へ続く

プログラム設定方法

7. 開始時刻の「分」の確定

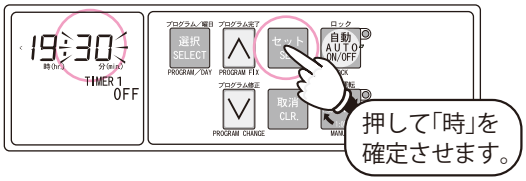


8. 終了時刻の「時」の設定



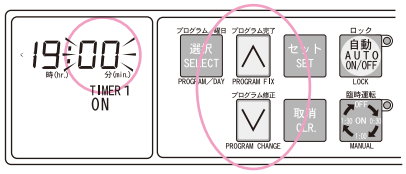
プログラム完了 PROGRAM FIX または プログラム修正 PROGRAM CHANGE を押し、時刻の「時」を合わせます。

9. 終了時刻の「時」の確定



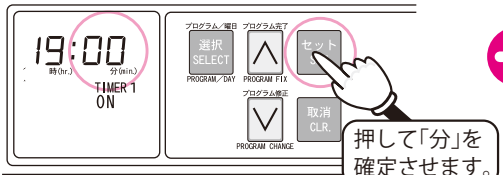
ONの「時」の点滅が止まり、
ONの「分」の点滅が始まります。

10. 終了時刻の「分」の設定



プログラム完了 PROGRAM FIX または プログラム修正 PROGRAM CHANGE を押し、時刻の「時」を合わせます。

11. 終了時刻の「分」の確定



ON/OFF時刻が交互に表示されます。

12. プログラムの完了

13. 自動運転を開始

ランプが点灯して自動運転を開始します。

ワンポイント

続けて他の設定をする時には、ロック 自動 AUTO ON/OFF LOCK を1回押し、
自動運転解除状態にして プログラム/曜日 選択 SELECT PROGRAM/DAY を押してください。

24時間連続の時間設定および日をまたぐ時間設定はできません

ワンポイント

＜24時間使用したい時のタイマー設定＞

タイマーの開始時刻を0：00に、終了時刻を23：45にセットしてお使い下さい。

★ただし、この設定ではCタイプの自動給排水機能は作動いたしません。

プログラム設定方法

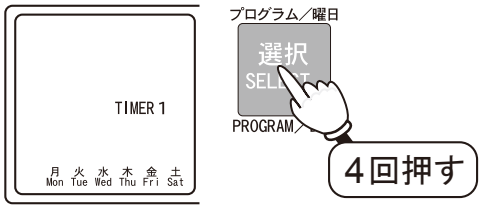
■ タイマー曜日変更 …〈運転時間の変更はP.6参照〉

①「タイマー1」の土曜日の設定を解除する例

1. 自動運転を解除する

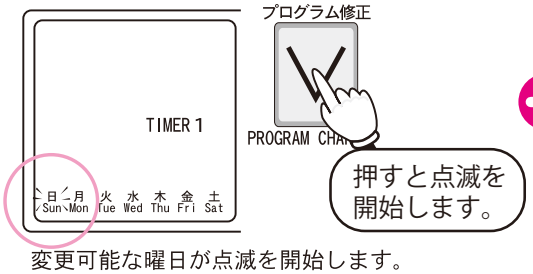
自動運転解除状態になります。

2. タイマーの設定曜日の確認



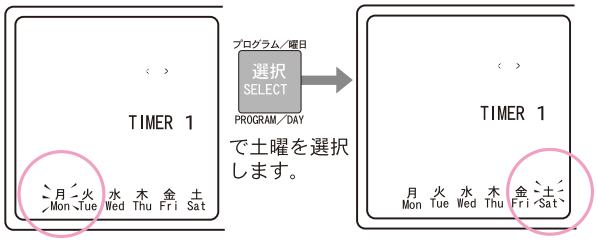
現在設定されている曜日が表示されます。

3. 変更可能状態へ

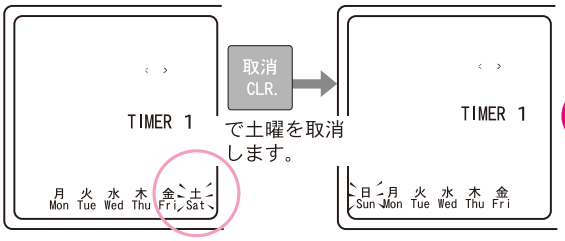


変更可能な曜日が点滅を開始します。

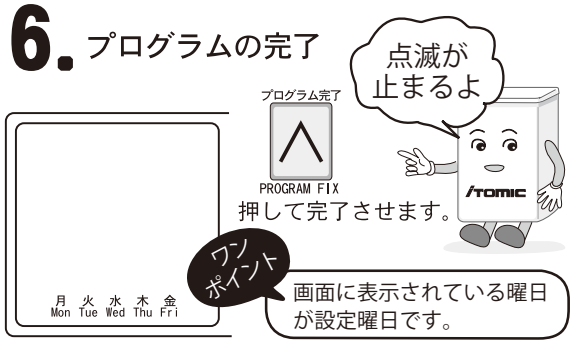
4. タイマーの設定曜日の選択



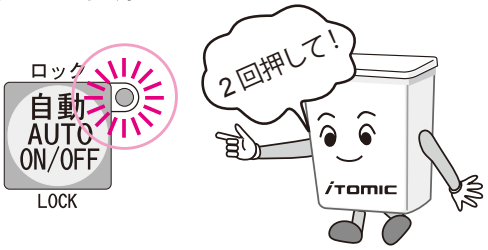
5. タイマーの設定曜日の取消



6. プログラムの完了



7. 自動運転を開始



ランプが点灯して自動運転を開始します。

ワンポイント

続けて他の設定をする時には、ロック 自動 AUTO ON/OFF LOCK を1回押し、自動運転解除状態にして プログラム／曜日 選択 SELECT PROGRAM／DAY を押してください。

プログラム設定方法

「タイマー1」・「タイマー2」では運転する曜日の変更ができます。ただし、同一の曜日には、1つの運転時間しか設定できません。重複して設定した場合には、後からその曜日に対して設定したプログラムが有効になります。

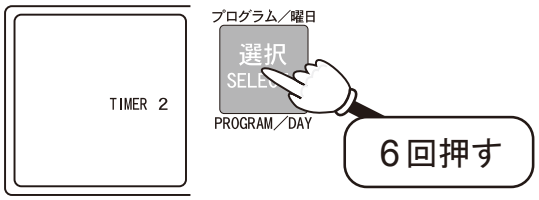
例えば「タイマー1」が工場出荷状態の「おすすめプログラム」の時、「タイマー2」で土曜日の6:30～12:30の運転時間設定をすると、土曜日の運転時間は「おすすめプログラム」の6:30～18:30ではなく、後から設定した6:30～12:30になります。

②「タイマー2」で土曜日を運転させる設定例＞

1. 自動運転を解除する

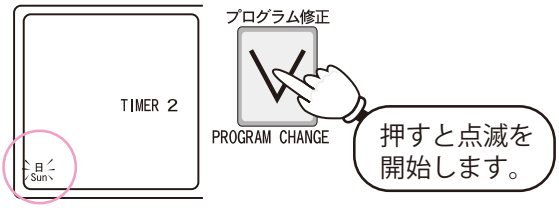
自動運転解除状態になります。

2. タイマーの設定曜日の確認



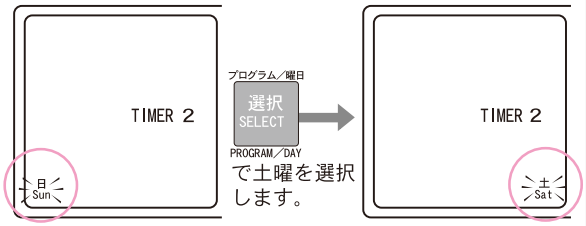
現在設定されている曜日が表示されます。

3. 変更可能状態へ

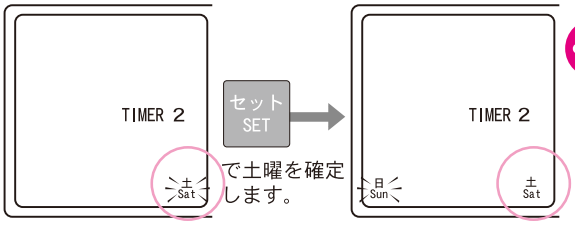


変更可能な曜日が点滅を開始します。

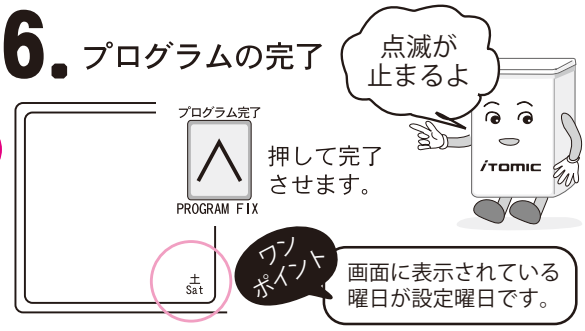
4. タイマーの設定曜日の選択



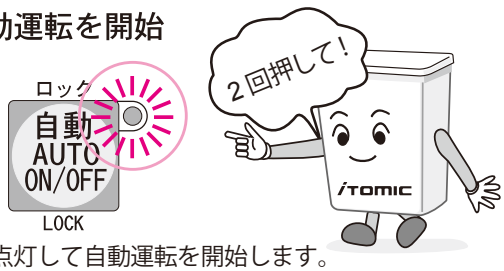
5. タイマーの設定曜日の確定



6. プログラムの完了



7. 自動運転を開始



ランプが点灯して自動運転を開始します。

プログラム設定方法

■ 運転停止日の設定

●連続休日の前日に設定することで、翌日から連続して運転を停止させることができます。
●設定できる日数は 99 日までです。翌日を 1 日として設定してください。
例えば夏休みを設定する場合、13 日～ 17 日までの 5 日間が休みならば 12 日に運転停止日「05 日」と設定してください。

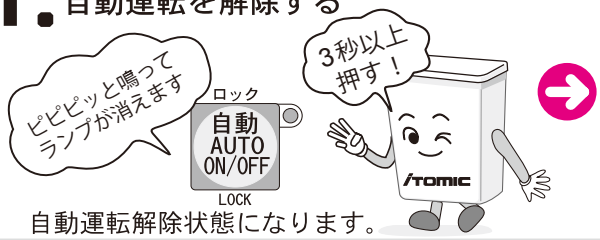
＜ 8 月＞

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	(12)	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23 30	24 31	25	26	27	28	29

○ 設 定 日
□ 運転停止5日間

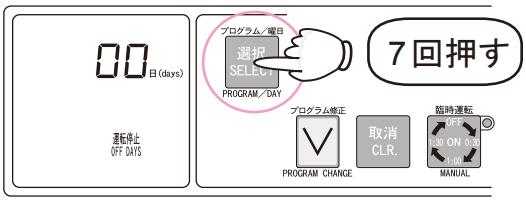
⚠ 必ず休日の前日に設定してください。
設定した翌日から停止状態になります。

1. 自動運転を解除する

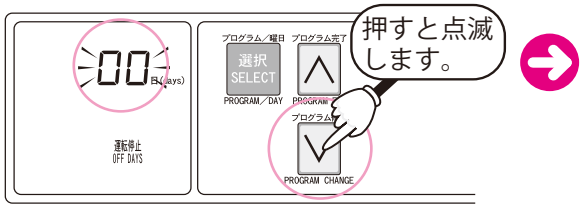


自動運転解除状態になります。

2. 運転停止日数の確認

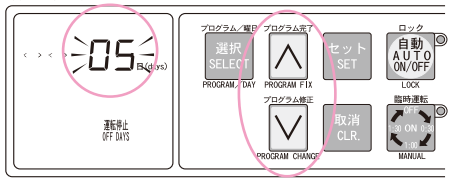


3. 変更可能状態へ

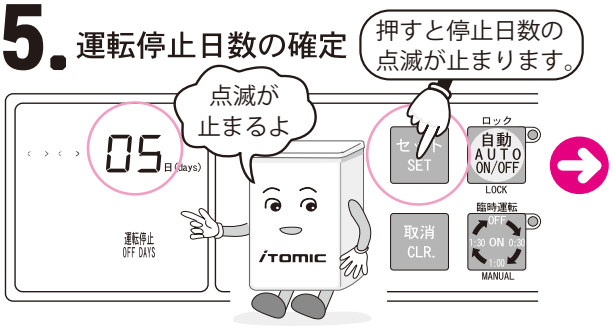


4. 運転停止日数の設定

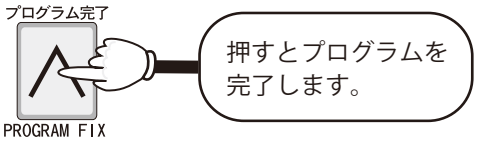
プログラム修正 ▽ PROGRAM CHANGE または プログラム完了 △ PROGRAM FIX スイッチを押して希望の日数にあわせます。



5. 運転停止日数の確定



6. プログラムの完了



7. 自動運転を開始

ランプが点灯して自動運転を開始します。

ワンポイント
続けて他の設定をする時には、ロック 自動 AUTO ON/OFF LOCK を1回押し、
自動運転解除状態にして プログラム／曜日 選択 SELECT PROGRAM／DAY を押してください。

★運転停止日を解除するには、設定を「00 日」にしてください。
★運転停止日が設定されている日でも臨時運転できます。
★Cタイプは運転停止日を2日以上設定した場合、終了した日の次の日の運転開始時刻 2 時間前に自動排水を行い、1 時間前に新しい水を給水します。

■ 自動給排水日の変更（Cタイプのみ）

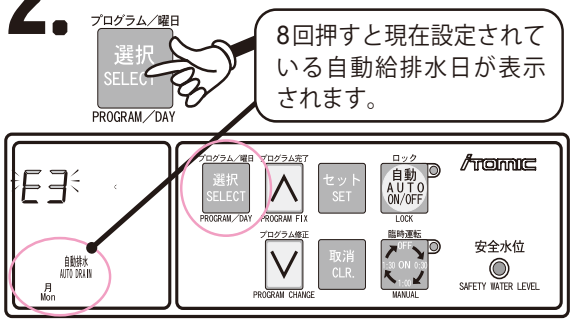
設定曜日の運転開始２時間前に湯槽の湯水を自動排水し、運転開始1時間前に新しい水を自動給水する機能です。曜日のみを設定すれば、自動的に開始時間の2時間前に設定されます。

自動給排水日を月曜日から水曜日に変更する例

1. 自動運転を解除する

自動運転解除状態になります。

2. 自動排水日の確認

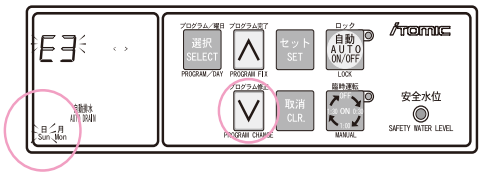


3. 変更可能状態へ

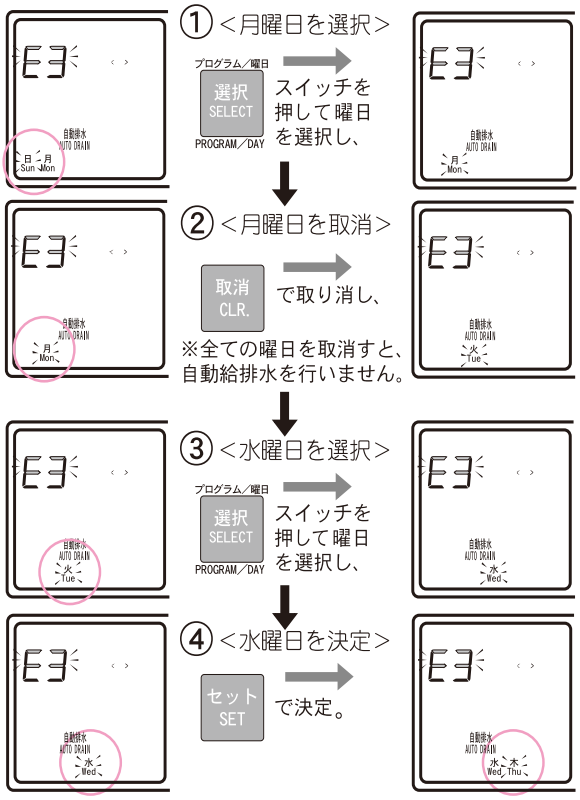
プログラム修正

PROGRAM CHANGE

を押して変更可能な曜日が点滅を始めたらプログラムを変更できます



4. 自動排水日の選択
＜月曜日から水曜日に変更する例＞

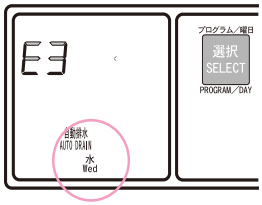


5. プログラムの完了

プログラム完了

PROGRAM FIX

を押して完了させます。



ワンポイント

画面に表示されている曜日が設定曜日です。

6. 自動運転を開始

ランプが点灯して自動運転を開始します。

ワンポイント

続けて他の設定をする時には、ロック 自動 AUTO ON/OFF LOCK を1回押し、自動運転解除状態にして プログラム／曜日 選択 SELECT PROGRAM／DAY を押してください。

ワンポイント

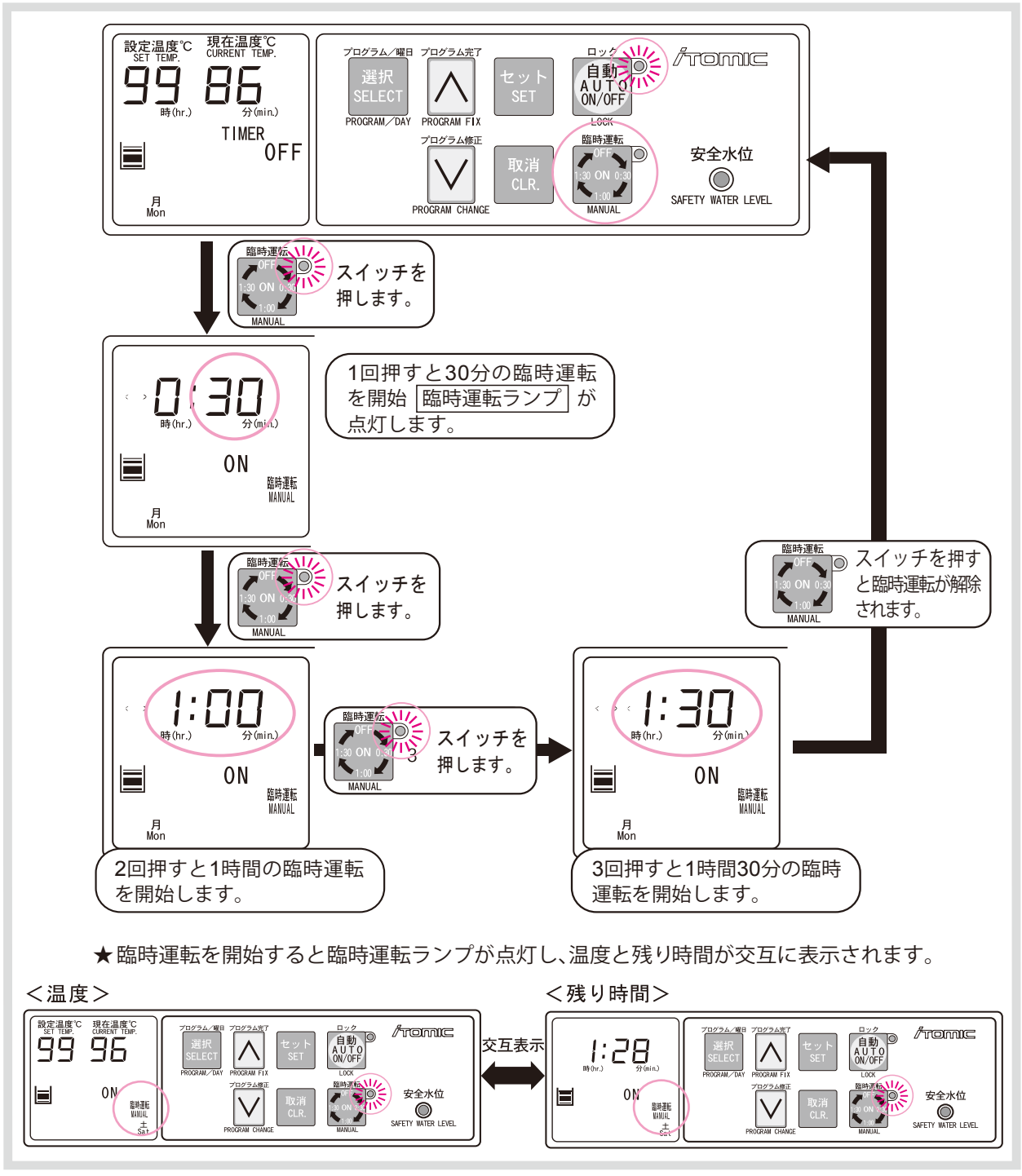
★ 湯温が60℃以上の時は自動給排水が設定されていても実行しません。

★ 運転開始時刻は午前2時以降にしてください。自動給排水を実行しません。

■ 臨時運転のしかた

残業時や休日出勤など、プログラム設定で運転休止中の時でも臨時運転の機能を使えばプログラムを変更することなくワンタッチでお湯が沸かせます。

臨時運転は 30 分・1時間・1時間30分の間だけ行います。



★臨時運転を開始すると臨時運転ランプが点灯し、温度と残り時間が交互に表示されます。

＜温度＞

交互表示

＜残り時間＞

ワンポイント

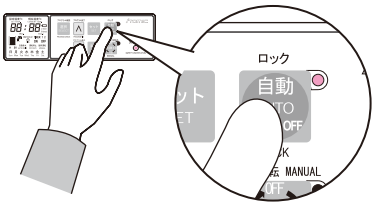
臨時運転中に、臨時スイッチを押すと臨時運転が解除されます。
また、休日出勤時など停止時間が長かった場合、沸き上がりには時間がかかります。
（沸き上がり時間の目安は「工事要領・取扱説明書」の仕様表をご参照ください。）

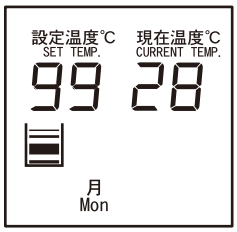
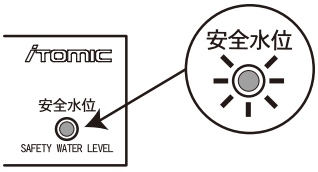
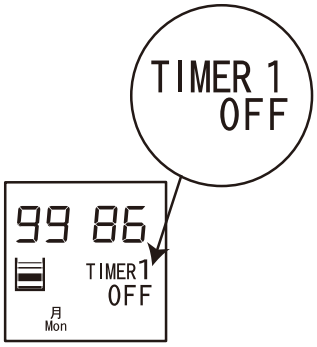
故 障 と 思 わ れ る 前 に

故障かな？と思っても実際には製品の故障でないことがありますので、修理を依頼される前に次の表を参考にしてチェックしてください。

ブザーを止めるには

ブザーが鳴った場合には「自動運転」スイッチを3秒以上押し続けてください。

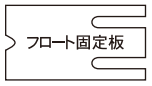


状　況	チェックポイント	処　理　方　法
電源を投入しても何も点灯表示しない。  電源投入時の液晶パネル	①ブレーカが OFF になっていませんか？ ②電源プラグがコンセントに差し込まれていますか？ ③電圧は正常ですか？	①OFFになっていた場合、ONにしてください。 ②確実に差し込んでください。 ③ 100Vの製品に200Vを接続するとコントローラーが破壊されます。 裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
※SB型のみ ブザーが断続的に鳴り、安全水位ランプが点滅している。  	お湯の使いすぎ、もしくは湯槽が空になっていませんか？	お湯を使わずしばらくお待ちください。ブザーが止まり安全水位ランプが点灯に変わります。もし、これを無視して使用し続けると「AL-2」が点滅してブザーが鳴り続けます。（ブザーを停止するには自動運転スイッチを 3 秒以上押し続けてください。） ⇒「AL-2」次ページ参照。
湯温が上がらない。 （お湯が沸かない）	①液晶パネルに OFF 表示が出ていませんか？  ②自動運転、臨時運転のどちらのランプも消灯していませんか？	① OFFであれば自動運転プログラムの時間外です。必要ならば臨時運転スイッチを押すかプログラム変更してください。 ⇒臨時運転 P.12 参照。 ⇒プログラム設定 P.4 参照。 ②どちらかのスイッチを押してください。

ワンポイント 電池切れについて	時計機能の保護のため電池を内蔵していますが長年ご使用いただくと電池が切れてしまう可能性があります。もし、電池が切れてしまっても電源を切らない限り、 通常通りの運転ができます。 ※電池切れの表示が出た場合には裏表紙に記載の弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。

エ　ラ　ー　表　示

本器は各種の故障診断機能を備えています。故障や問題が発生したときには警報ブザーが鳴り、液晶画面にエラーが表示されます。

エラー表示	異常内容	考えられる原因および処理の方法
AL-1	過昇温検出（設定温度より温度が高くなった）	ヒーター用リレー溶着 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
AL-2	給水異常	・止水栓が全開になっていなかった ・断水 ・ 水位センサースケール付着（BT型は上部、SB型は下部） ⇒スケールをナイロンタワシなどで除去してください。
		BT型のみ ・湯槽内のフロート固定板が外れていない ⇒上蓋を外し、フロート固定板を外してください。 
		SB型のみ ・給湯蛇口が開けっ放し ・給水口接続部のフィルタのゴミ詰まり ⇒止水栓を閉め、フィルタの清掃をしてください。
	SB型のみ お湯の使い過ぎ （お湯が無くなり水になっても、安全水位ランプの点滅に気づかず使用し続けた場合。）	安全水位ランプが点滅し、ブザーが鳴っているときはお湯を使い切ったことを意味します。これを無視して使用し続けると「AL-2」が表示されます。 ⇒自動運転スイッチを3秒以上押し続けてアラームを解除し、熱湯栓または混合栓を閉め、お湯が貯まるまでしばらく（10～15分）お待ちください。
Cタイプのみ AL-3	排水異常	・排水弁、給水弁の故障 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
AL-4	温度センサーの異常もしくは接続コネクタの異常	温度センサーの断線もしくは接続コネクタの断線 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
AL-5	温度センサーの異常	温度センサーの短絡 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
AL-6	沸き上げ不可	ヒーター断線もしくは接続電線断線、ヒーターリレーの故障 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
AL-7	プログラム異常 （プログラムデータ破損）	自動運転スイッチを3秒以上押すとブザーは止まりますが、“おすすめプログラム”に戻ってしまいます。必要な場合は再プログラムを行い、自動運転スイッチを押して運転再開してください。たびたび発生する場合は弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
SB型のみ AL-8	オーバーフロー	・上部水位センサースケール付着 ⇒スケールをナイロンタワシなどで除去してください。 ・自動給水弁または定水量弁の故障 ⇒弊社フロント課もしくは最寄りの地区販売会社までご連絡ください。
AL-10	プログラム設定条件不可	タイマーのON時間よりOFF時間を早い時間に設定した ⇒再度、正しい時間に設定し直してください。（P.4参照）

アドバイス&メンテナンス

データベース管理と専門技術で安心、快適のサポート。

お買い上げいただいた機器はすべてデータベースに登録。定期点検の時期などを的確に管理し、豊富な経験と優れた技術を兼備した専門スタッフが責任をもってサポートいたします。イトミック製品を安心してお使いいただくとともに快適な温水環境をお届けするため、アドバイスとメンテナンスを心を込めて提供いたします。

アフターサービス(最寄りのイトミック製品販売拠点へ)

一般電話・公衆電話の場合(市内通話料金でご利用可能です)

市内通話料でOK ナビダイヤル®

0570-011039

携帯電話・PHS・IP電話の場合:**03-3621-2161**

※お電話の前に型番・製造番号をご確認ください。

メンテナンス契約

弊社製品を永くお使いいただくためにはメンテナンス契約が有効です。詳しくは下記の弊社リニューアル課までご連絡ください。また、部品のご注文はフロント課で承っています。

24時間サービス体制
夜間専用電話: 東京 03-3621-2161

● ISO9001 認証取得●経済産業省電気用品製造事業届出工場●日本電気工業会正会員●日本ボイラ協会会員●建設業許可

株式会社 日本イトミック

本社・営業本部
〒 130-0002 東京都墨田区業平 5-11-3 イトミックビル
TEL 03(3621)2121(大代表) FAX 03(3621)2130

ホームページ http://www.itomic.co.jp/

フロント課(部品、修理)
TEL 03(3621)2161(代表) FAX 03(3621)2163

リニューアル課(保守)
TEL 03(5860)4992(代表) FAX 03(3621)2163

《地区販売会社、営業所》

北海道地区	●(株)北海道イトミック	:〒063-0801札幌市西区二十四軒1条5-1-10(ラポール24軒2号館)	TEL 011(615)6681(代)	FAX 011(615)7004
東北、新潟地区	●(株)東北イトミック	:〒981-3125仙台市泉区みずほ台4-3	TEL 022(773)6161(代)	FAX 022(773)6213
中部、北陸地区	●(株)中部イトミック	:〒460-0002名古屋市中区丸の内1-4-12(アレックスビル3F)	TEL 052(222)2561(代)	FAX 052(222)2559
近畿地区	●関西イトミック(株)	:〒541-0041大阪市中央区北浜3-7-12(京阪御堂筋ビル2F)	TEL 06(6226)0800(代)	FAX 06(6226)0802
中国、四国地区	●(株)中国イトミック	:〒730-0051広島市中区大手町1-7-12(徳永ビル)	TEL 082(240)1361(代)	FAX 082(240)1363
九州、沖縄地区	●(株)九州イトミック	:〒812-0007福岡市博多区東比恵3-28-5	TEL 092(481)3911(代)	FAX 092(481)3930

※本書に記載の内容は、製品の改良や仕様の変更などにより予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

VEGETABLE OIL INK

この印刷物は、再生紙と植物油インクを使用しています。

KK00D10017-7

'10.12-8-1-4 ①